

# 区連会 資料 4 - 1

令和 6 年 4 月 18 日

各自治会町内会 会長 様

旭保護司会 会長 小松 康夫

「保護司会だより旭」発行と送付について

時下、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

旭保護司会につきまして、日頃より並々ならぬご理解とご協力を頂き誠にありがとうございます。厚く御礼申し上げます。

この度、保護司会の活動状況などの一環をお知らせいたしたく「保護司会だより旭第 42 号」を発行しましたのでご送付申し上げます。

何卒、ご高覧頂きますようお願い申し上げます。

1 送付部数 : 各 1 部

### 退任保護司

(敬称略)

〔任期満了〕  
令和五年九月三十日付

萬政一

(委嘱日 平成二十一年十二月五日)  
退任後は「大好きな新聞を毎日ゆっ  
くり精読している今日この頃です」  
当保護司会に多大なご尽力を頂き  
誠にありがとうございました。

### 新任保護司 挨拶



森田 健二

令和五年十月一日より保護司の委  
嘱を受けました。人生経験も浅く、  
自身の家族生活こそ疎かでないかと  
妻から怒られそうな私ですが、青年  
期に保護司活動と接する機会があり、  
活動に興味を持ちました。まだ先で  
と考えていましたが、今回ご縁を頂  
きましたので、自身の成長と、微力  
ながら地域貢献へ繋がるよう努めて  
参ります。



井上 大士

この度、十月一日付で保護司の委  
嘱を承りました。辞令と保護司バッ  
ジを頂き身の引き締まる思いでござ  
います。

休み時間にも関わらずご対応いた  
だいた観察所の方、直接お会いす  
るお時間を作っていただいた会長のお  
かげで前々より興味のあった保護司  
になることができました。諸先輩の  
方々と同じ方向を見つめ更生保護の  
一役を担えたらと思います。



池原 伸弘

十月より保護司として委嘱されま  
した。旭区に住むようになって三十  
年、地域の皆さまに微力ではありま  
すがお役にたてればとの思いでお受  
けいたしました。保護司の皆さま方  
のお力添えを賜り、犯罪や非行から  
の立ち直りの支援、明るい安心・安  
全な地域づくりに取り組んでけれ  
ばと思っています。宜しくご指導の  
ほどお願いいたします。

### 功労者表彰

(敬称略)

第七十一回横浜市更生保護大会に  
おいて、次の方々が表彰されまし  
た。おめでとうございます。  
表彰日十一月二日付

#### 横浜市長感謝状

恒成 文幸  
原田 憲夫

#### 横浜市会議長感謝状

伊佐地誠嗣

#### 横浜市保護司会協議会会長表彰

佐藤 公紀  
澁谷 薫

第七十三回神奈川県更生保護大会  
において、次の方々が表彰されま  
した。おめでとうございます。  
表彰日十一月二十二日付

#### 法務大臣表彰

高橋 美登

#### 全国保護司連盟理事長表彰

原田 憲夫  
小松 節香

#### (家族功労者)

#### 関東地方更生保護委員会委員長 表彰

石村 利幸  
出井 善次  
澤野 研

#### 関東地方保護司連盟会長表彰

小林 元和  
新川 武雄

#### 神奈川県知事感謝状

藤根 強

#### 神奈川県保護司会連合会長表彰

佐藤 公紀  
澁谷 薫



神奈川県更生保護大会にて

### 編集後記

昨秋、地域の福祉講演会で保護  
司活動を取りあげた。「保護司信  
条」を説明し、地域から次なる後継  
者を如何にして発掘するか特に犯  
罪予防の視点からいくつかの事例を  
挙げた。約五十名の参加者を前に、  
子育てにおける「ビタミシ(愛)」の  
大切さと、転んだら起きる強靱な精  
神力をつけること、仮に起き上がれ  
なければ「この手につかまれ」と支援  
を差し伸べる大人であることを要望  
して講演を終えた。(出井 記)

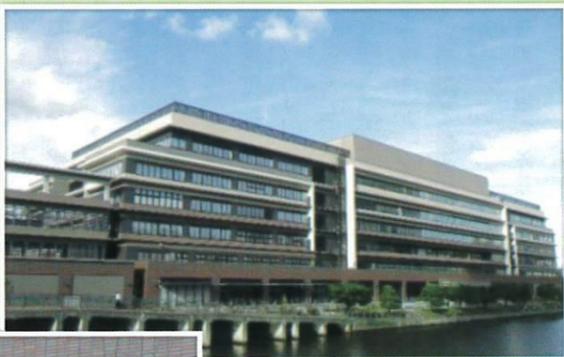
# 保護司会だより 旭

発行所 旭保護司会広報部  
発行責任者 会長 小松 康夫  
事務局 旭区社会福祉協議会  
旭区鶴ヶ峰 1-6-35 ぱれっと旭  
印刷所 小松印刷株式会社

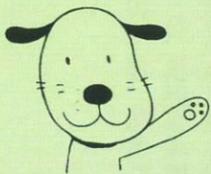


旭区社会福祉協議会  
キャラクター「あさひ丸」

玄関での記念撮影



横浜保護観察所がある  
合同庁舎全景



令和五年六月二十三日付で、旭  
区社会福祉協議会会長に就任い  
たしました。どうぞ宜しくお願い  
申し上げます。  
平素より旭保護司会の皆様には、  
犯罪や非行を犯してしまった人  
達の改善や立ち直りを支える活  
動の他、全国展開される「社会  
を明るくする運動」を始め、旭区  
民まつりに於ける「薬物使用撲滅  
活動」や青少年を対象とした「薬  
物被害防止研修会」など、犯罪や  
非行を未然に防止する地道な取  
り組みに対し、深甚なる謝意を  
表す次第でございます。  
犯罪や非行の背景には、孤立や  
貧困など複合的な要因がありま  
す。ここ数年連続したコロナウイ  
ルス感染症の拡大では、多くの  
人々の日常生活が制約され、生き  
づらさを感じながらの生活を強  
いられました。また、近年のSNS  
の発達と普及により、匿名での誹  
謗中傷や特殊詐欺など犯罪の手  
口は巧妙且つ複雑化し、若年層が  
被害者にも加害者にもなりうる  
事案が数多く報告されています。  
誰が何処で何をしているのか、  
大変見えにくい世の中となりま

## 地域共生社会の実現に向けて

旭区社会福祉協議会会長 渡邊 多喜男

このような社会情勢下ゆえに、  
保護司の皆様が行っている活動を  
地域全体で支えて行く、といった  
ことが求められているのではない  
でしょうか。人々が地域の中で繁  
がり、見守り合い支え合えるよう  
うな緩やかな仕組みができれば、  
犯罪の少ない明るい街づくりに貢  
献できるものと思っています。  
コロナウイルス感染症の五類移  
行後、地域の活動が徐々に再開さ  
れ、希薄化した人と人との繋がりが  
も復活しつつあります。本会とい  
たしましても、現状を踏まえつつ  
誰もが地域の中で共に支えられ  
共に生きて行く「地域共生社会」  
の実現に向け、職員一同団結し取  
り組んで参ります。今後も貴会  
には、従前にも増すご支援ご協力  
を賜りますようお願い申し上げます。  
会長就任のご挨拶といたします。



「社会を明るくする運動」  
シンボルマーク

